

令和2年度事業報告

特定非営利活動法人 社会還元センターグループわ

I 事業報告

グループわ は、令和2年2月のこども家庭センターのこと等を踏まえ、令和2年度は、新たな気持ちで、ボランティア団体として高齢者、障がい者等の福祉の増進並びに子どもたちの健全な育成を目指してボランティア活動を進めようとしてきましたが、新型コロナウイルス感染状況が継続し、活動の場や練習の成果発表の場の確保などを意図通りにはできませんでした。

まず、会員の確保の観点から、継続加入の維持と新期加入の増大に努めましたが、会員総数は、前年度比89%の1292名にとどまりました。

グループわ の公益団体運営支援事業が終了したため、理事の2名削減、監事の非常勤化等の本部組織の効率的な再編を行うとともに、財政収支改善のため、財政再建プロジェクトチームを一般会員と一部の理事で8月に立ち上げ、その提言を11月に受け、その後理事会内部で検討しました。

広報は、“ぎやらりーわ”の発行を紙ベースで年2回とし、ネット版で2回としました。ホームページについては、8月に新しい画面にし、グループわ の基本情報やより新しい情報（動画も含めて）の提供を行うなど、グループわ を積極的にPRしてまいりました。

学習支援活動は、神戸市シルバーカレッジとタイアップし、本年度も将来を担う子どもたちの健全な育成を重要課題として、10月にも新たな学習支援活動者を募り、小学校の要望にすべて応えるべく務めました。

また、神戸市のフレイルサポート事業は、各区の多くの会員が参加した地域展開を目指しましたが、新型コロナウイルス感染状況による2回にわたる緊急事態宣言の発令により、当初の計画は、やむなく変更、延期となりました。

日常活動では、グループわ の特徴を生かして、長年培われた豊富な経験と蓄積された知識をベースにして、区会を中心とした地域振興や、福祉、国際、環境、文化、いきがいの分野での活動を、できる範囲で行いました。

神戸市シルバーカレッジ・こうべ市民福祉振興協会・神戸市社会福祉協議会等と連携した活動も引き続き展開してまいりました。一昨年度から分担執筆を行っているシルバーカレッジ学長を編者とする「高齢者の学びを社会に活かす～神戸市シルバーカレッジの軌跡と挑戦（仮題）」の書籍の発行が、1年延びることとなりました。また、こうべ市民福祉振興協会の協力を得ながら、グループわ の発祥の地である“しあわせの村”を舞台とした事業や活動、例えば、夏休み工作塾、ビバ！ハロウィンなども実施しました。神戸市社会福祉協議会には、災害支援募金を寄贈し、現地に送付していただきました。

具体的な区会・部会活動については、別添の事業報告書に詳細を示させていただきます。

下記は、活動内容等を項目別に記載しております。

1. 会員の確保

(1) 会員数

	平成31年4月6日現在	令和2年4月6日現在	令和3年4月6日現在
継続会員	1,292	1,136	1057
新入会員	122	84	111
(卒業生)	(343)	(246)	(267)
合計	1,414	1,220	1168
最終会員数	1,452	1,292	(4月13日現在) 1187
内継続会員	1,305	1,198	(4月13日現在) 1071
内新入会員	147	94	(4月13日現在) 116

(2) 会員の親睦行事

グラウンドゴルフ・野鳥観察会を区部会と連携して実施し、会員相互の親睦及びコミュニケ

ーションを高めることが出来ました。

実施日	イベント名	参加人数	参加者等
11月1日(日)	グランドゴルフ大会	38名	わ会員・一般
11月8日(日)	野鳥観察会	23名	小学生低学年～一般

(3) 実用講座の充実

会員相互のスキルアップを目指して1月13日のジョイラックデイズに神戸大学医学部の協力を得て「健康づくりのためのレクチャーと実践」をテーマとした講習会を開催しました。

	項目	開催日	受講者数
①	ジョイラックデイズ テーマ：「健康づくりのためのレクチャーと実践」 神戸大学医学部保健学研究科の内田様を講師に招いて、次の内容の講義(20分×4回)を実施 ① 口腔および嚥下機能がなぜ大事なのか？ ② 嚥下はどのような機序で起こるのか？ ③ 嚥下機能の測定方法のレクチャーと実践 ④ 嚥下機能の改善方法(体操などのレクチャー)	1月13日 (水) 14:40 ~ 16:30	受講者数：約40名 (講師：1名)

(4) 個人ボランティア登録

グループわに多くのボランティア依頼が有りますが、現在登録のボランティアグループにお願いするのが難しい分野の依頼があり、会員の皆様が個人的に持っている豊富な経験と蓄積された知識をベースにした特技を登録して頂き、皆様の活動場所の提供拡大や要請依頼があった時に対応できるよう「個人ボランティア登録」システムを構築していきます。

前年度までの登録件数	25件
今年度の登録件数	34件
計	59件

1人で複数の分野に登録してくださる方もあり、この情報を有効活用していきたいと思えます。今年度は新型コロナの感染拡大のため、残念ながら活動ができませんでした。

2. 組織の効率的な再編と新規事業の展開

理事9名、会員5名、およびオブザーバー2名の構成で「財政再建プロジェクトチーム」を設置し、検討がおこなわれました。テーマは財政問題だけに限定せず、グループわの組織と活動についても意見交換がおこなわれ、会員からの提言も盛り込んだ報告書が12/8に提出されました。

報告書を受けて、理事会は具体化検討をおこないました。その内容は以下の通りです。

<活動資金の獲得策>

	実施項目	実施内容
①	学校園ボランティア派遣等コーディネート業務	・教育委員会事務局より受託の新規事業 ・学校園にボランティア派遣のニーズ調査を行い、要請のあった学校園にボランティアを派遣。
②	区老人連合会・区子ども連合会等の事務支援	区老連、区子連への支援(総会運営、受付、運動会、イベント開催など)の要請への対応
③	須磨一ノ谷プラザの利用促進策	・イベント開催での集客、市・区役所にチラシ配布、ホームページでのPR強化等の利用促進策の実施
④	広告料収入の確保	・ギャラリーわに広告を掲載
⑤	その他	・新規事業の獲得

<費用削減策>

	実施項目	実施内容
①	区、部会助成金の減額	・令和2年度の減額を令和3年度も継続
②	功労者表彰の予算化	・個人3人、団体1グループ程度の予算

3. 広報活動

広報活動は、グループ内のさらなる活性化と組織拡大を目的として、各部会・区会・本部の諸活動を組織内外に伝えています。その媒体として、大きくは次の3つを活用し、取組を進めました。

① ぎやらりーわ

通年は4回/年間発行しておりましたが、本年度は、経費節減のため、会員の自宅宛て郵送は、6・1月の年2回発行とし、その他にネット版を2回発行しました。

また、グループの現状や直面している課題、今後の目標について、部会及び9区会の区会活動を紹介しました。

②WEBサイト（ホームページ）

WEBサイトは、よりタイムリーに情報を伝える場として活用を進めています。

今年も下記のように記事の追加更新を行いました。

又従来、HP作成ソフト（ホームページビルダ）を併用して、各ページのデザインをしておりましたが、神戸市ソーシャルブリッジによるWEBサイト改善提案を受けてCMS（コンテンツマネジメントシステム）の一つであるWordPressを使用したWEBサイトに変更し、8月1日よりリニューアルしました。写真、動画を活用し、より見やすく楽しいWEBサイトとなるよう努めました。併せて1週間に1回追加更新した内容を運営委員の皆様へ確認をお願いするとともに「部会所属グループ代表」への周知配信、情報共有化に努めました。

WEBサイト更新件数 2021/3/31 現在

	令和元年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度
	上期	下期	上期	下期
追加更新件数	101	47	63	99

WEBサイト閲覧回数(集計方法:google アナリティクス:ページビュー) 2021/3/31 現在

	令和元年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度
	上期	下期	上期	下期
HP閲覧回数	50,999	368,416	51,730	34,814

(令和元年度下期、令和2年度上期は、報道による影響を含みます)

③ 動画の掲載

部会所属グループの活動紹介を主目標として取り組みましたが、コロナ禍できる活動が少ないなか、7件の撮影と、WEB授業用動画を2件作成し、掲載しました。

④ その他

SNS(Facebook、Twitter、Instagram)を活用した、情報発信の準備を行いました。

4. 子どもたちの健全育成

(1) 学習支援活動の継続

今年度小学校からの要請に応じて、特別支援、教科指導、新聞作り、放課後支援、パソコン指導等を33校に対して行い、戦争体験と平和授業や昔遊び・昔の暮らし体験学習と幅広い学習支援も行いました。

コロナ禍で1学期は小学校が休校状態のため、活動は2学期からとなり、また特別支援学校は今年度は支援ができませんでした。

10月16日に学習支援者の研修会を開き、2学期からの活動に備えました。

2月に予定していました「支援者の集い」は緊急事態宣言が出たため、中止しました。

項目	小学校数	実施日
特別支援、教科指導補助、放課後支援、パソコン指導	65校	毎月
戦争体験と平和授業	9校	8月1校、2学期7校 3学期1校
昔の遊び・昔の暮らし体験学習	3校	2学期2校、3学期1校

(2) 自然環境体験教室の展開

項目	実施予定日	参加者数
① 花実の森	3回開催を予定したが、第1回(5月)は緊急事態宣言により中止。第2回(7月)、第3回(10月)はカブトムシの生育が順調に進まなかったため中止。秋から床づくり作業を進め、令和3年度の開催に備えた。	無し
② ケナフの会	8月1日 神出自然教育園で紙漉き教室(親子自然体験教室)実施。	23人
	8月8日 しあわせの村研修館で紙漉き教室(夏休み工作塾)実施。	30人
	10月25日 しあわせの村ビバ!ハロウィンで紙漉き教室実施。	113家族

(3) こべっこランド受託業務

子どもの健全な育成に寄与すべく、こべっこランドの「親子で楽しむ昔あそび“わ”んだーらんど」を以下のとおり開催しました。

項目	実施日	参加者数
① 親子で楽しむ昔あそび“わ”んだーらんど	令和年2月21日(日)	参加者57人

(4) 電話相談業務

「児童虐待電話相談」の夜間休日電話相談は、児童虐待の対応に重要な役割を担うことを認識し、神戸市と連携を図りながら推進してきましたが、今後の電話相談業務は福祉専門職にて対応することになったため、今年度5月31日をもって終了しました。

項目	実施日	参加者数
① 児童虐待電話相談業務 (夜間休日365日対応)	4月1日～5月31日	スタッフ:22名

5. 国際会議関連支援

国際コンベンションセンターからの委託事業として、国際会議のワークショップの時間に日本の伝統文化（茶道・書道・華道・着付け等）を紹介して、日本への理解を深める活動を支援していますが、新型コロナウイルス感染拡大のため、当面中止となっています。

6. 薬草による地域創生事業の協力

グループわは、平成29年より兵庫医療大学が兵庫県「大学等との連携による地域創生拠点形成支援事業」として取り組んできた「もっと兵庫の薬草を知ろう、広めよう、味わおうプロジェクト」に参加してきました。この取組は、令和2年2月末をもって第1段階が終了し、プロジェクト・アーカイブNo.1が発行されました。同プロジェクトは引き続き継続される予定ですが、令和2年度は具体的な動きは休止しました。

7. フレイルサポート(市民サポーターによるフレイルチェック会)

神戸市福祉局介護保険課、(一財)神戸在宅医療・介護推進財団のフレイルチェック会地域展開の方針のもと、区会を中心として(一部市民リピーター参加)8か所の開催に協力しました。ただし、新型コロナのため、実施は11月からとなり、令和3年3月末時点で、6か所の開催、1月開催予定の2か所は緊急事態宣言のため延期となっています。

神戸市福祉局の新型コロナ感染対策により、原則、受講者10人サポーター6人体制という少人数でのフレイルチェック会の方針となりました。そのためフレイルサポーターは9月14日しあわせの村研修館で練習会を開き、役割分担などを工夫し、少人数のサポーターでの体制(補助を入れて8人~12人)で、フレイルチェック会に取り組んでいます。

その他、フレイルサポーターはZOOMによる6月31日「全国フレイルサポーター・トレーナーの集い」、令和3年3月12日にはZOOMによる「全国フレイルチェックの集い」などに参加しました。また、6月末7月末8月末の3回、フレイルチェック会参加リピーターへの手紙を送る取り組みをしました。

	項目	実施日	実施場所	受講者とサポーター数
①	第1回フレイルチェック会	11月20日	神戸市立看護大学講義室	受講者7名(うち西区会4名) サポーター:8名
②	第2回フレイルチェック会	11月27日	兵庫区役所みなとがわホール	受講者11名(うち兵庫区会8名) サポーター:12名
③	第3回フレイルチェック会	12月7日	東灘区文化センター多目的ホール	受講者10名(すべて東灘区会) サポーター:8名
④	第4回フレイルチェック会	12月16日	しあわせの村たんぼぼの家	受講者9名(すべて北区会) サポーター:8名
⑤	第5回フレイルチェック会	延期のため未定	垂水文化センター多目的ホール	受講者8名(すべて垂水区会) サポーター:8名
⑥	第6回フレイルチェック会	延期のため未定	北須磨文化センター大会議室	受講者10名(すべて須磨区会) サポーター:8名
⑦	第7回フレイルチェック会	令和3年3月6日	三宮勤労会館308会議室	受講者11名(うち中央区会5名) サポーター:9名
⑧	第8回フレイルチェック会	令和3年3月24日	灘区文化センター大会議室	受講者9名(すべて灘区会) サポーター:8名

8. しあわせの村の事業の展開

こうべ市民福祉振興協会との共催事業は、新規イベントを含めて例年通りしあわせの村を舞台として、活動を行いました。新型コロナウイルス流行のため一部イベントが中止となりました。

実施日	イベント名	参加人数	参加者等	備考
5月5日(火)	わいわいストリート			緊急事態宣言発令により中止
7月25日(土)	しあわせの村まつり			延期 担当者会議2回開催 具体的な内容、日程 今後検討予定
8月8日(土)	夏休み工作塾	76人 (子供)	花実の森・むかしあそび・ケナフ・里山G・創エネ神戸・折り紙G 悠々・竹細工・救急ボランティア・本部	コロナ感染防止のため、事前予約制で人数制限、3密回避を施し実施。
10月25日(日)	ビバ!ハロウィン 「こうべっこひろば」	約900人 (子供)	すみれ、銀雅、ゆめのつづき、わらい届け隊、うらしまたろう、むかしあそび、ケナフ、木工、マジック、本部	3密防止のため入場制限する等コロナ感染防止に万全を期し実施
令和3年3月	こうべユニバーサルデザインフェア		茶道・吹き矢(予定)	中止

9. 災害支援募金

神戸市社会福祉協議会を通じて義援金として現地に送付しました。

これに対して神戸市社会福祉協議会理事長より感謝状を頂きました。

No.	災害発生年	サポート募金名	募金額(円)	備考
1	平成28年4月	熊本地震支援募金	59,080	残金
2	平成30年6月~7月	西日本豪雨災害支援募金	310,860	残金
3	平成30年9月	北海道地震支援募金	3,000	残金
4	令和元年9月~10月	台風15・19号支援募金	375,488	
		計	748,428	

10. 「須磨一ノ谷プラザ」管理運営

	項目	実施日	実績
①	建物老朽化に伴い、補修、修繕など	6月	以前からの水道漏れに対する影響を区役所に相談し、網戸の整備など区役所にて解決済
②	広報に依頼し今以上にPRを推し進めた	5月	WEBサイトに貸室業務を1頁に作成し掲載
③	新型コロナウイルス感染予防対策として各種対応を実施し再開した	6月	注意事項の貼り出し、入館者名簿の設置、検温、各所の消毒実施
④	9月14日新人出務者3名ローテーション入り(担当日新人研修実施)	9月	理事2名、その他会員1名
⑤	諸問題を区役所と話し合いながら快適に使用できる様に推し進めた	2月	新型コロナウイルス感染症予防対策として閉館した時の利用料を区役所で補填

11. 「パソコン講座」の継続

神戸市シルバーカレッジの学生・卒業生をはじめ一般の方を対象に「パソコン何でもお好み塾」をふたば学舎で継続実施し、マンツーマン方式の個別指導を進めました。

実施日	実施回数	受講者数	1回あたりの受講者	講師数
毎週金曜	37回	147人	4人/回	171人

注1) 新型コロナウイルス感染に伴う緊急事態宣言により4月、5月は中止、
6月12日より開講しました。

注2) 例年、シルバーカレッジで実施しているパソコン体験教室はシルバーカレッジが8月末まで休館のため中止しました。

1 2. プログラミング支援

小学生にScratch（プログラミング言語）を使ったプログラミング体験講座を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2020年3月から小中学校が休校になりました。当初、児童館と協力して開催するつもりでしたが、児童館の活動が止まったため、プログラム体験講座の活動も止まりました。

児童館との協業は再開の目途が立たないため、2021年2月から神戸生活創造センターで月1回個別に参加者を集めて体験講座を再開しました。

令和2年度 計算書類 [決算報告および監査報告]

令和2年4月1日から令和3年3月31日

特定非営利活動法人社会還元センターグループわ

円

科目	金額		
(正味財産増減計算)			
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
受取会費・入会金			
受取会費	1,938,000		
受取会費・入会金合計		1,938,000	
受取寄付金			
受取寄付金	1,299,246		
受取寄付金合計		1,299,246	
受取助成金等			
受取民間助成金	300,000		
受取助成金等合計		300,000	
事業収益			
受託料収益	4,300,136		
参加料収益	57,500		
受講料収益	214,500		
事業収益合計		4,572,136	
その他収益			
受取利息	122		
雑収益	116,565		
その他収益合計		116,687	
経常収益合計			8,226,069
(2)経常費用			
事業費			
活動報酬	1,796,500		
旅費交通費	825,540		
通信運搬費	277,553		
材料費	848,385		
消耗品費	82,402		
消耗備品費	51,975		
印刷製本費	440,512		
水道光熱費	340,264		
賃借料	32,400		
保険料	690,010		
租税公課	168,700		
支払助成金	528,200		
支払寄付金	748,428		
業務委託費	42,740		
支払手数料	1,210		
雑費	128,766		
事業費合計		7,003,585	
管理費			
活動報酬	180,000		
旅費交通費	1,399,360		
通信運搬費	272,657		
会議費	6,900		
消耗品費	177,921		
消耗備品費	5,830		

科目	金額		
研修費	14,620		
印刷製本費	31,795		
地代家賃	287,532		
賃借料	4,500		
保険料	190,000		
租税公課	78,550		
支払手数料	73,236		
雑費	6,353		
減価償却費	71,648		
管理費合計		2,800,902	
経常費用計			9,804,487
当期経常増減額			▲ 1,578,418
2.経常外増減の部			
(1)経常外収益			
経常外収益合計			0
(2)経常外費用			
経常外費用計			0
当期経常外増減額			0
税引前当期正味財産増減額			▲ 1,578,418
当期正味財産増減額			▲ 1,578,418
前期繰越正味財産額			18,159,562
次期繰越正味財産額			16,581,144

貸借対照表

令和3年3月31日現在

I 資産の部		II 負債の部	
1.流動資産		1.流動負債	
現金預金		未払金	467,381
現金	496,575	前受金	1,731,000
当座預金	4,534,530	流動負債合計	2,198,381
普通預金	12,842,675	2.固定負債	
現金預金合計	17,873,780	固定負債合計	0
他の流動資産		負債合計	2,198,381
未収金	355,050	III 正味財産の部	
前払費用	391,520	前期繰越正味財産	18,159,562
仮払金	5,000	当期正味財産増減額	▲ 1,578,418
他の流動資産合計	751,570	正味財産合計	16,581,144
流動資産合計	18,625,350		
2.固定資産			
有形固定資産			
什器備品	154,175		
有形固定資産合計	154,175		
無形固定資産			
無形固定資産合計	0		
投資その他の資産			
投資その他の資産合計	0		
固定資産合計	154,175		
資産合計	18,779,525	負債正味財産合計	18,779,525

財産目録

令和3年3月31日現在

特定非営利活動法人社会還元センターグループわ
円

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
現金預金	現金			496,575
	--本部現金			476,575
	--須磨一ノ谷小口現金			20,000
	当座預金			4,534,530
	--ゆうちょ銀行振替口座			4,534,530
	普通預金			12,842,675
	--三井住友銀行			3,790,229
	--みなと銀行			9,052,446
他の流動資産	未収金			355,050
	前払費用			391,520
	仮払金			5,000
流動資産合計				18,625,350
(固定資産)				
有形固定資産	什器備品			154,175
無形固定資産				
投資その他の資産				
固定資産合計				154,175
資産合計				18,779,525
(流動負債)				
	未払金			467,381
	--報酬・交通費			467,381
	前受金			1,731,000
流動負債合計				2,198,381
(固定負債)				
固定負債合計				0
負債合計				2,198,381
正味財産合計				16,581,144

監査報告

令和2年度決算書および関係書類等について監査したところ、いずれも適正であると認めます。

令和3年4月16日

監事 水町亮治 ㊟

監事 川部忠夫 ㊟

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日、2017年12月12日最終改正、NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税の規定に基づいて定額法で償却をしています。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理処理によっています。

2. 事業費の内訳

令和2年度活動計算書 事業費内訳表 2020年4月1日～2021年3月31日 (千円)

科目	公益団体運営支援事業	イベント活動事業	PC指導事業	区会活動事業	部会活動事業	ボランティア啓発事業	災害救援事業	合計
活動報酬	1,711	0	85	0	0	0	0	1,796
旅費交通費	488	254	81	0	0	0	0	825
通信運搬費	16	0	0	0	0	261	0	277
材料費	0	848	0	0	0	0	0	848
消耗品費	65	0	4	0	0	12	0	82
消耗備品費	51	0	0	0	0	0	0	51
印刷製本費	0	0	0	0	0	440	0	440
水道光熱費	340	0	0	0	0	0	0	340
賃借料	1	0	30	0	0	0	0	32
保険料	30	0	0	0	0	659	0	690
租税公課	107	52	9	0	0	0	0	168
支払助成金	0	0	0	251	255	21	0	528
支払寄付金	0	0	0	0	0	0	748	748
業務委託費	0	22	0	0	0	20	0	42
支払手数料	0	1	0	0	0	0	0	1
雑費	25	0	0	0	0	103	0	128
事業費計	2,839	1,178	210	251	255	1,519	748	7,003

3. 使途等が制約された寄付等の内訳

使途等が制約された寄付等の内訳は、以下の通りです。

当法人の正味財産は16,581,144円で、使途が制約されていない正味財産です。

(円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
こうべ市民福祉振興協会	0	300,000	300,000	0	川重シルバー活動基金
熊本地震支援募金	0	59,080	59,080	0	H28年4月発生(*)
西日本豪雨災害支援募金	3,000	307,860	310,860	0	H30年6-7月発生(*)
北海道地震支援募金	0	3,000	3,000	0	H30年9月発生(*)
台風15.19号支援募金	369,988	5,500	375,488	0	R元年9-10月発生
合計	372,988	675,440	1,048,428	0	

(*)熊本地震、西日本豪雨災害、北海道地震の当期増加額は、仮受金処理によるものです。

4. 固定資産の増減内訳

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産 什器備品	2,995,760	0	0	2,995,760	2,841,585	154,175

5. その他NPO法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

グループわ は、今期初めての単年度赤字決算となりました。財政再建に向けてプロジェクトチームで課題を整理し、理事会ではその具体化取組を開始しました。このたびの財政難を契機としてグループわ の組織と活動がさらに発展できるように、関係諸団体のご支援・ご協力を得ながら、今後も従来同様活発な活動を進めてまいります。